

# 学習課題(小学校6年生)



## 【社会】

### <学習内容> 「江戸幕府と政治の安定」

◆教科書 76～86 ページをもとに、江戸幕府が力を強め、政治を安定させたしくみについて取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 豊臣秀吉とよとみひでよしの死後、徳川家康とくがわいえやすは関ヶ原せきがはら（岐阜県）の戦いで、自分に反対する大名たちを破り、江戸幕府ことば(教科書P77)を開きました。家康が行ったことについて、教科書 77 ページを参考に調べ、下の（ ）に言葉を書き入れましょう。

- 1603 年、朝廷から(①) に任じられ、江戸に幕府を開く。幕府の重要な役職に古くからの家来をつけ、支配体制を整えた。
- 全国の大名を、徳川家の親せきの(②)、古くからの家来の(③)、関ヶ原の戦い後に徳川家に従った(④)に分け、その配置をくふうした。
- 1615 年に、大阪の(⑤)氏をほろぼした。
- 全国に(⑥)令を出して、大名が住む城しろ以外の城の(⑦)を命じることで(⑧)のない安定した世の中がおとずれた。

- (2) 徳川家康ひでただと2代将軍の徳川秀忠ぶけしよはつとは、武家諸法度というきまりを定めました。武家諸法度によって、江戸幕府はどのようになりましたか。教科書 78～79 ページを参考に調べ、下の表にまとめよう。

- 武家諸法度に反したなどの理由により、全国の多くの大名が取りつぶされ(①)の力はますます強くなった。
- 江戸幕府のしくみが(②)のころ確立し、(③)した世の中をおかえることになった。

- (3) 3代将軍徳川家光のころ、大名が行列を組んで領地と江戸との間を行き来する参勤交代さんきんこうたいことば(教科書P81)の制度が整えられました。なぜこのような制度を整えたのでしょうか。80～81 ページを参考に調べ、取組シートやノートに自分の考えを書いてみよう。

(4) 江戸時代の社会は、武士や町人、百姓などの様々な身分 ことば (教科書 P83) の人々によって構成されていました。人口の85%を占める百姓はどのようなくらしをしていたか教科書 83 ページを参考に調べ、取組シートやノートにまとめよう。

(5) 江戸幕府は、初め外国との貿易 ぼうえき をさかんに行っていましたが、外国との貿易や交渉 こうしょう を行う場所を厳しく制限するようになりました。このことを鎖国 さこく ことば (教科書 P85) と言います。なぜ幕府は、鎖国をしたのでしょうか。教科書 84～85 ページを参考に調べ、取組シートやノートに自分の考えをまとめよう。

**<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。**

- ・江戸時代には、様々な職業が生まれました。教科書 P88～89 ページの絵巻を見て、どんな職業の人がいるか探してみましょ。今に続く職業もあれば、形を変えて残っている職業、その時代ならではの職業も見られて、江戸時代のくらしへの興味・関心が高まります。